

補助事業番号 23 - 4 - 051

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災者支援拠点づくり活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 ふくしま NPO ネットワークセンター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「まちの駅」でもある当ステーションは、まず市内の観光関連施設を「まちの駅」として登録し、これらをネットワーク化することが有効であると考えます。「まちの駅」には「場所」があり、「人」がおり、徒歩圏の、そして全国のネットワークがある。「まちの駅」が災害時の情報提供、支援物資の中継点として有効に機能することは本庄市、鹿沼市、見附市などの事例ですでに明らかとなっている。しかし、福島市においてははまだ「まちの駅」への認識が浅いのが実情であり、その周知を図りつつ、早急にネットワーク化に着手することによって復興のまちづくりを実現したい。

(2) 実施内容 **事業報告**

① まちの駅講座の開催：2012年1月27日開催 会場/AOZ（アオウゼ）

- ・先進事例として、新潟県見附市の担当職員とまちの駅ネットワークみつけの代表者、また、栃木県鹿沼市からはまちの駅ネットワークかぬまの相談役として取り組んでいる鹿沼市経済部長を招き、設立時の手法や事業の事例を紹介した。さらに、まちの駅のネットワークでの「民間と行政」協働のあり方を学び、ネットワークの有効性を探った。



②災害時における情報拠点のあり方についてのアンケート

(12施設 回答113件：回答者は一般市民およびまちの駅スタッフ)

- <一部抜粋> ・施設により設備や強度、被災の度合いの違いがあるので、統一した対策が必要
- ・医療品の配布とストック
- ・弱者への援助
- ・支援活動情報の提供
- ・災害時に他地域から来ている被災者対応の窓口となり、全国のまちの駅にその対応を広めてほしい。これらの声を生かせるようなネットワークの強化を図りたい。

② まちの駅ネットワークふくしま」の運営にかかる準備

- ・まちの駅ネットワークふくしま実行委員会 3回開催 (5/28 6/22 8/20)



- ・まちの駅グッズおよび有事時の情報伝達グッズの配布 1. まちの駅・ステッカー、パンフ、のぼり旗（大・小） 2. 伝言板用コルクボード、回覧板用用箋ばさみ

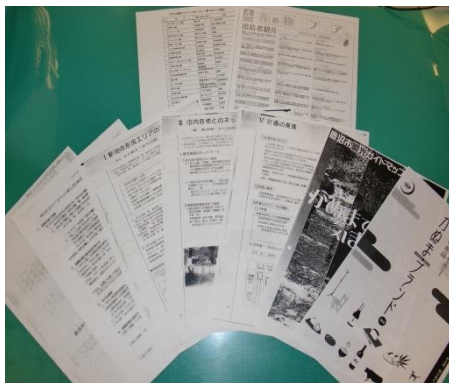


2. 予想される事業効果

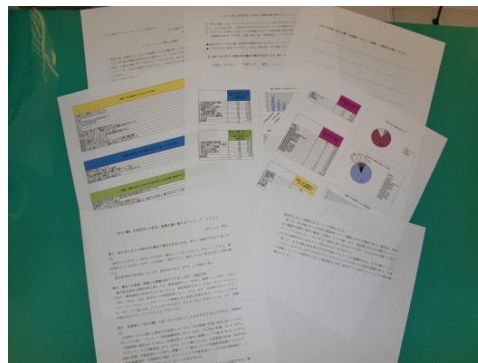
まちの駅ネットワークふくしまの設立により、点在していた施設の連帯感が強まり、今後の非常時には、情報拠点や被災者の受け入れなどまちの防災ステーションの役割を担うことができ、福島市内の防災ステーションとして、市民に安心・安全を提供できる。また、まちの駅ネットワークふくしまの設立がきっかけとなり、2013年「まちの駅全国フォーラム in 福島」開催の決定を受けたことで、全国のまちの駅の仲間や全国大会参加者に、福島の現状を伝えるとともに、復興支援の事業として効果が期待できる。また、全国大会に取り組むことで、福島県や各地域をつなぐ力強い連携と協働をも実現できるものと期待している。

3. 本事業により作成した印刷物

講座配布資料



アンケート用紙



事業報告書



4. 本事業内容についての問い合わせ

団体名：特定非営利活動法人 ふくしま NPO ネットワークセンター

住所：〒960-8034 福島市置賜町 1-29 佐平ビル 8F

代表者名：理事長 星野珙二

担当部署：ふくしま情報ステーション

担当者名：所長 齋藤美佐

電話番号：024-528-1211

F A X: 024-528-1218

E-mail: center@-npo.jp

U R L: <http://www.f-npo.jp/>